

本末転倒の事態



第96号

JR東労組上野車掌区分会

2019年5月13日

発責:朝田 淳/情宣部

緊急CS懇談会開催の裏で 組合役員を差別か!?

本日(13日)から緊急でCS懇談会が開催されています。この間職場で様々な事象が発生している事から、CSアドバイザーである組合員は懇談会の開催を提案をしました。懇談会は乗務員の疑問や不安をざっくばらんに話し合う、いい機会です。

しかし、今回の懇談会を発案した担当の主務車掌(組合役員)は変形に指定されておらず、なんと!日勤の改札行路が指定されています。もし仮に間違っただけで指定してしまったら変形に勤務変更をすればいいことですが、昨日(12日)まで勤務変更の連絡は一切ありません。

本来ならば事故・事象を防ぐためにより多くの参加者で意見を出し合い、要因をしっかりと掘り下げて、対策を自分自身に活かすのが懇談会の趣旨です。しかも、安全は労使共通の課題あり、上車に限らず全社員に関わる極めて重要な問題にも関わらず、会社は組合差別をすることに注力しているのであれば本末転倒です。更にそれは不当労働行為という犯罪行為であり、職場の雰囲気悪化させ、より多くの事故・事象が誘発される事につながります。そんな職場環境に誰もしたくありません!!

不当な差別・選別することを許さない!

安全で安心して働ける職場環境の実現に向け、堂々と闘おう!!

国土交通省から警告文書が出されたにもかかわらず
安全問題でも差別・選別・不当労働行為を貫く会社